

令和5年度進行管理・評価シート
水戸市 歴史的風致維持向上計画（平成31年3月26日認定）
（最終変更 令和6年2月26日）

□進捗評価シート(様式1)

①組織体制(様式1-1)

1 ①水戸市歴史まちづくり推進ワーキンググループによる課題検討/②水戸市歴史的風致維持向上計画検討委員会の推進/③水戸市歴史的風致維持向上計画協議会の実施	1
-------------------------------------------------------------------------------	---

②重点区域における良好な景観を形成する施策(様式1-2)

1 水戸市景観計画の活用	2
--------------	---

③歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項(様式1-3)

1 弘道館公園整備事業	3
2 偕楽園公園整備事業	4
3 保和苑整備事業	5
4 千波公園整備事業	6
5 都市景観形成助成事業	7
6 水戸駅前三の丸地区市街地再開発事業	8
7 三の丸地区周辺景観整備事業	9

④文化財の保存又は活用に関する事項(様式1-4)

1 水戸市民俗芸能文化財等伝承事業補助金交付事業	10
2 民俗芸能実演支援事業	11
3 文化財・まちなみ巡り事業	12
4 観光周遊バス運行事業	13
5 歴史的風致に関連した祭り開催支援事業	14
6 歴史的風致情報発信推進事業	15
7 文化財指定, 調査, 保存活用計画策定等の推	16
8 文化財の修理, 整備, 防災事業の推進	17
9 文化財に関する普及・啓発の推進	18

⑤効果・影響等に関する報道(様式1-5)

1 水戸市文化財に2件	19・20
-------------	-------

⑥その他(効果等)(様式1-6)

1 水戸市への観光客数の推移	21
----------------	----

□法定協議会等におけるコメントシート(様式2)	22
-------------------------	----

評価軸①-1
組織体制

項目	評価対象年度 担当	令和5年度 現在の状況
①水戸市歴史まちづくり推進ワーキンググループによる課題検討 ②水戸市歴史的風致維持向上計画検討委員会の推進 ③水戸市歴史的風致維持向上計画協議会の実施	水戸市歴史文化財課	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容
 ○水戸市歴史まちづくり推進ワーキンググループ: 計画の推進及び変更に係る課題の調査及び検討
 ○水戸市歴史的風致維持向上計画検討委員会: 計画の策定及び推進に伴う庁内の連絡調整を所掌
 ○水戸市歴史的風致維持向上計画協議会: 計画の策定及び変更並びに実施に係る連絡調整を所掌

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

「水戸市歴史的風致維持向上計画協議会」を開催し、計画の策定及び変更並びに実施に係る連絡調整を行った。なお、「水戸市歴史的風致維持向上計画検討委員会」及び「水戸市歴史まちづくり推進ワーキンググループ」については、開催に要する議題がなかったことから今年度は開催しなかった。

【各会議の実施回数】水戸市歴史的風致維持向上計画協議会 (1回)

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

水戸市歴史的風致維持向上計画協議会
 (会長:学識経験者, 委員:県関係課長及び市関係部長)
 ○第1回 : 令和5年7月5日開催
 ・令和4年度進行管理・評価シートについて
 ・中間評価の実施について



協議会の開催状況

評価軸②-1

重点区域における良好な景観を形成する施策

項目	評価対象年度 担当	令和5年度 現在の状況
水戸市景観計画の活用	水戸市都市計画課景観室	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
計画に記載している内容 水戸市景観計画に基づき、重点区域内の4つの地区(三の丸周辺地区、偕楽園周辺地区、保和苑周辺地区、備前堀周辺地区)を重点的に景観形成を図る地区として位置づけ、それぞれの景観形成方針の下に重点的に景観形成を図ることとしている。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
①大規模建築物等の景観誘導:水戸市景観計画(平成20年度策定)及び景観法により、良好な景観の形成に支障を及ぼす行為(大規模建築物等)の事前届出制度による景観誘導を図った。(令和5年度届出件数:10件(重点区域内)、50件(水戸市全域)) ②高度地区による建築物の高さの制限:重点区域を含む市街化区域全域(既に高さ規制のある地域を除く)について、高度地区の都市計画決定(平成22年度)により、歴史的資源や自然景観の保全、良好な住環境の保全及び秩序ある都市環境の創出を図った。 ③屋外広告物の行為の制限:水戸市屋外広告物条例(平成22年度施行)により、重点区域内の「偕楽園・千波湖周辺地区」及び「弘道館・水戸城跡周辺地区」を屋外広告物特別規制地区に指定することで規制を強化し、良好な眺望景観の保全を図った(令和5年度許可件数:7件(特別規制地区内)595件(水戸市全域))。既存不適格広告物に関しては、これまで条例に適合するよう是正指導を行い、撤去又は改修を促し、一定の効果をあげた。		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	水戸市景観計画ほか景観関係施策に基づき、歴史的資源や自然景観の保全を引き続き実施する。	
状況を示す写真や資料等		
①大規模建築物等の景観誘導 良好な景観の形成に支障を及ぼす行為(大規模建築物等)について、事前届出制度による景観誘導を図っている(対象区域:水戸市全域)。		
②高度地区による建築物の高さの制限 重要な歴史的資源や自然等の良好な景観を保全する地区については、地域の特性に応じた規制値を設定した。 【良好な景観を保全する地区】 ●水戸駅北口地区、●弘道館周辺地区、●芸術館周辺地区、●偕楽園周辺地区、●備前堀周辺地区、他		
③屋外広告物の行為の制限 弘道館や偕楽園等の水戸を代表する魅力ある眺望景観の保全を図るため、水戸市景観計画において、屋外広告物の行為の制限について特に重点的に景観形成を図る区域と位置づけた区域を、「屋外広告物特別規制地区」に指定した。これらの地区については、高い位置に設置が可能となる屋上利用広告物などを規制することにより、良好な眺望景観を保全することを目指す(条例第6条)。 【規制内容】 これらの地区では、次の屋外広告は表示できない。 ●アドバルーン ●屋上利用広告物 ●電光装置等を用いる屋外広告物(電光ニュース・ビジュアルボード等) また、次の基準を満たす必要がある。 ●表示面積の1/4を超えて彩度8を超える色彩を使用しないこと。 ●蛍光、発光又は反射を伴う塗料又は材料を使用しないこと。 ●ネオン、点滅する照明、回転灯等を使用しないこと。		
④景観重要建造物の指定 良好な景観の形成に重要な建造物を、景観法に基づき指定し、地域の個性ある景観づくりの核として、その維持・保全及び継承を図ることを目指す。		

評価軸③-1
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度 担当	令和5年度 現在の状況
弘道館公園整備事業	茨城県都市整備課	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成29年度～令和10年度

支援事業名 歴史生き生き！史跡等総合活用整備事業

計画に記載している内容 「旧弘道館」保存活用計画書」に基づき、段階的に整備を進めていく。
 ①公開方法に関する整備 ②情報提供に関する整備
 ③公園施設の活用に関する整備 ④藩校時代の諸施設の再現検討

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

保存活用計画に基づき、令和5年度は次に掲げる事業を実施した。

- ① 公衆用トイレ新設工事(施工中)

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



① 公衆用トイレ新設工事 (施工中)

評価軸③-2
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度 担当	令和5年度 現在の状況
偕楽園公園整備事業	茨城県都市整備課	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成19年度～令和10年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(都市公園等事業)
歴史生き生き！史跡等総合活用整備事業

計画に記載している内容 「偕楽園(史跡及び名勝常磐公園)保存活用計画報告書」に基づき、段階的な整備を進めていく。
①偕楽園の文化財価値の向上:好文亭の耐震化など歴史的建造物の整備、梅の後継木育成、景観整備、本来の歩行導線整備など
②利用者の満足度向上:ユニバーサルデザインをふまえた公開ルートの整備、わかりやすい解説板整備、トイレ洋式化、南崖のライトアップなど

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

偕楽園の歴史性を踏まえた環境整備を進め、文化的価値の向上を図るため、令和5年度は次に掲げる事業を実施した。
①板塀整備工事 ②景観支障木の伐採工事 ③トイレの洋式化 ④QRコード読み取りによる施設の案内
⑤土壌調査

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

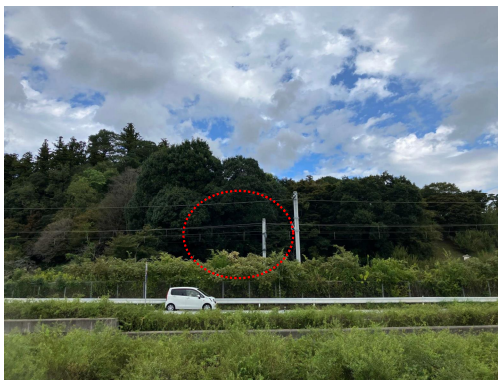
状況を示す写真や資料等



① 板塀整備工事



② 景観支障木の伐採工事



施工前



施工後

評価軸③-3
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度 担当	令和5年度 現在の状況
保和苑整備事業	水戸市公園緑地課	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成28年度～令和10年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(都市公園事業)

計画に記載している内容 園内の継続的な整備を行うことで、保和苑のより一層の魅力向上を図るとともに、周辺のまちなみと調和した景観づくりを進めていく。
 ①西側の修景施設整備:植栽と散策路、及び休憩施設の配置
 ②園路の整備:バリアフリーに配慮したスロープの設置、西側の修景施設をつなぐ園路整備

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

和風庭園にふさわしい整備をするため、令和5年度は次に掲げる事業を実施した。

- ① 園路整備工事 ② 藤棚の改築工事

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

歴史的風致維持向上計画に基づき、歴史的風致との調和を図りつつ園路整備や藤棚改築を行うことで、保和苑のより一層の魅力向上に努める。

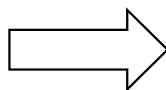
状況を示す写真や資料等



施工前

施工中

①



施工前

完成

②



評価軸③-4
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度 担当	令和5年度 現在の状況
千波公園整備事業	水戸市公園緑地課	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成30年度～令和10年度

支援事業名 都市構造再編集中支援事業(個別補助)

計画に記載している内容
 偕楽園や隣接する桜川緑地、沢渡川緑地、紀州堀緑地、逆川緑地を含めた大規模公園として整備を行い、景観形成を図る。
 ①千波公園の各広場等の整備②千波公園拡張部の整備③千波湖の水質浄化

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

令和5年度は、次に掲げる事業を実施した。
 ①ボウリング場(レイサイトボウル)跡地駐車場整備 ②流末整備工事

進捗状況 ※計画年次との対応

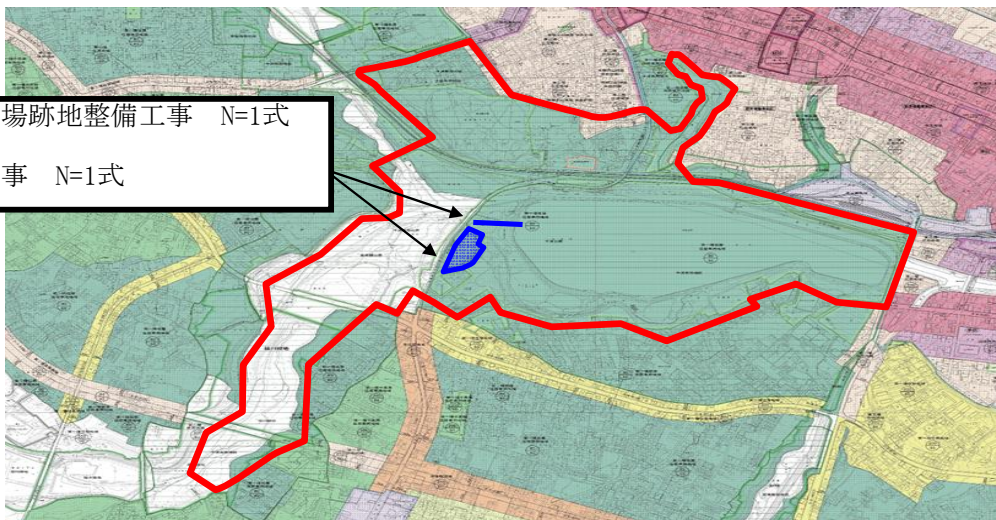
実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

今後千波公園においてはパークPFI事業等さらなる賑わいの創出に向け、歴史的風致との調和を図りつつ園内施設の充実や千波湖の水質改善に努めていく。

状況を示す写真や資料等

- ① ボウリング場跡地整備工事 N=1式
- ② 流末整備工事 N=1式



① ボウリング場跡地整備工事



施工前



施工中

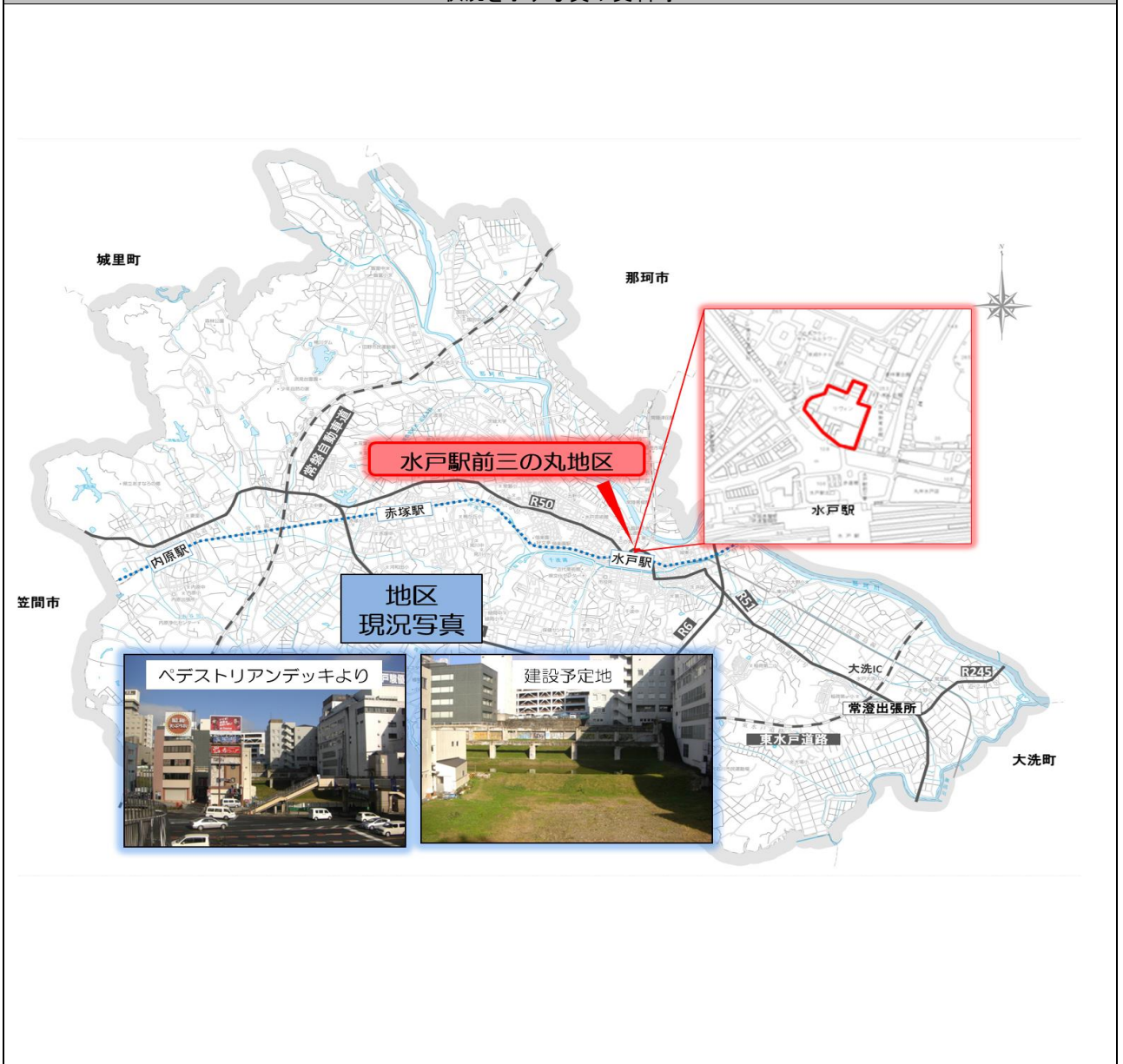
評価軸③-5
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度 担当	令和5年度 現在の状況
都市景観形成助成事業		水戸市都市計画課景観室	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	平成15年度～令和10年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	都市景観重点地区(備前堀沿道地区／弘道館・水戸城跡周辺地区)における、優れた都市景観づくりに寄与する下記のような行為に対して助成金を交付し、地区の歴史性などと調和した景観づくりを推進していく。 ①建築物等の新築、増築、改築又は移転に係る工事のうち外観に係るもの ②門、塀又は擁壁、石垣等の新築、増築、改築又は移転に係る工事のうち、外構に係るもの ③オープンスペースの整備に係るもの ④建築等の外観を変更することとなる修繕、模様替又は色彩の変更に係るもの等		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
令和元年度に水戸市都市景観形成補助金を改定し、弘道館・水戸城跡周辺地区も補助金交付の対象地域とした。			
令和5年度実績			
○備前堀沿道地区(交付0件)			
○弘道館・水戸城跡周辺地区(協議3件, 交付0件)			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	備前堀沿道地区ではこれまで建造物14件に対し補助金を交付した実績があり、着実に進捗している。弘道館・水戸城跡周辺地区においても、これまで12件に対し補助金を交付した。今後も、制度の活用を積極的に働きかけ、歴史的景観を活かした都市景観の形成や維持向上に努める。		
状況を示す写真や資料等			
◆水戸市都市景観形成補助金事業対象範囲			
○備前堀沿道地区 			
○弘道館・水戸城跡周辺地区 			

評価軸③-6
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

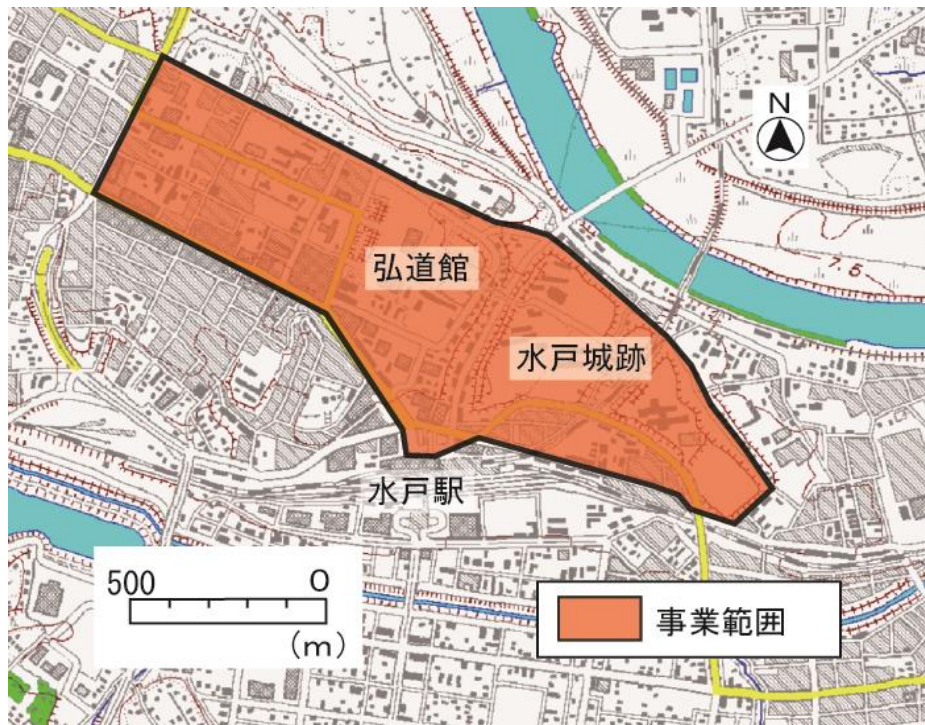
項目	評価対象年度 担当	令和5年度 現在の状況
水戸駅前三の丸地区市街地再開発事業	水戸市市街地整備課	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	平成28年度～令和8年度	
支援事業名	社会資本整備総合交付金(市街地再開発事業)	
計画に記載している内容	水戸駅から弘道館方面へのアクセスルートを確認し、歴史的な景観に配慮した整備を行うことで、水戸の玄関口にふさわしいまちなか交流拠点の形成を目指す。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
再開発組合に対して、解体工事の事業支援に努めた。		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	再開発組合と緊密な連携を図り、令和8年度の事業完了を目指す。	

状況を示す写真や資料等



評価軸③-7
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度 担当	令和5年度 現在の状況
三の丸地区周辺景観整備事業		水戸市市街地整備課	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	平成31年度～令和10年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	三の丸地区周辺の電線地中化や道路の拡幅、車道・歩道の再整備と、あわせて沿道周辺の広場の整備などを行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
第7次総合計画に位置づけるため、事業内容の検討に努めた。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない		第7次総合計画には位置づけされたが、道路の回遊ルートや景観コンセプトなどを検討したうえで、整備路線の決定を行う。	
状況を示す写真や資料等			



評価軸④-1

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度 担当	令和5年度 現在の状況
水戸市民俗芸能文化財等伝承事業補助金交付事業	水戸市歴史文化財課	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

無形民俗文化財等の伝承保存及び後継者育成を図るため、下記の活動に対し補助金を交付する。
 計画に記載している内容
 ①水戸市郷土民俗芸能のつどい事業費助成事業
 ②水戸市民俗芸能団体協議会事業費助成事業
 ③大串のささらばやし伝承保存及び後継者育成事業

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で
 ①水戸市郷土民俗芸能のつどい事業費助成事業
 水戸市民俗芸能団体協議会に対し補助金を交付した(交付金額:1,800千円)。
 ②水戸市民俗芸能団体協議会事業費助成事業
 5団体(大串ささらばやし保存会、大野みろくばやし保存会、杖友会、向井町散々楽保存会、水戸若鷺会)に対し補助金を交付した(交付金額:560千円)

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	民俗芸能団体は本事業による補助金が貴重な財源となっていることから、今後も助成を継続し、団体の運営を支援することで民俗芸能の保存・活用を図る。

状況を示す写真や資料等



向井町散々楽保存会



大串ささらばやし保存会



大野みろくばやし保存会



水戸若鷺会



杖友会(田谷の棒術保存会)

評価軸④-2

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度 担当	令和5年度 現在の状況
民俗芸能実演支援事業	水戸市歴史文化財課	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容 本市に伝わる民俗芸能を幅広く市民に周知するため、市主催のイベントを中心に、実演の機会を提供している。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- ①第32回風土記の丘ふるさとまつりにおいて実演を支援した。
- ②第18回水戸市郷土民俗芸能のつどいの開催を支援した。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

新型コロナウイルス感染症の流行に伴い自粛されていたイベントが、各地で開催されるようになった。一方、民俗芸能継承団体の高齢化が進んでいることから、実演の機会提供を引き続き推進し、伝統芸能の伝承・公開に努める。

状況を示す写真や資料等

- ①第32回風土記の丘ふるさとまつり(令和5年11月12日開催、会場:大串貝塚ふれあい公園)



国選択無形民俗文化財
「大串ささらばやし」



国選択無形民俗文化財
「大野みろくばやし」

- ②第18回水戸市郷土民俗芸能のつどい(令和6年3月9日開催、会場:市民会館)



水戸太鼓保存会



大根むき花保存会

評価軸④-3

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度 担当	令和5年度 現在の状況
文化財・まちなみ巡り事業	水戸市歴史文化財課	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
計画に記載している内容 本市内や本市ゆかりの場所にある文化財やまちなみを訪問する水戸郷土かるためぐりや史跡めぐりを実施し、本市の歴史や文化などへの理解を深める機会を提供していく。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
①水戸郷土かるためぐり: 令和5年7・8月に市内の小学生親子31組(76名)を対象に、かるたに詠まれる各所を巡る事業を企画した。 ②史跡めぐり: 令和5年10月に市内80名を対象に、福島県棚倉町の水戸市ゆかりの史跡等を巡る事業を企画した。		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	移動手段や立地条件により、行程が制限されることがある。参加者のアンケート結果を踏まえ、制約等についてはできる限り工夫し、より市民の興味・関心を引くような行程や内容を検討する。	
状況を示す写真や資料等		

①令和5年度水戸郷土かるためぐりの様子



偕楽園



青柳夜雨(水戸八景)



弘道館

②令和5年度史跡めぐりの様子



八槻都々古別神社



天狗党の墓



棚倉城跡

評価軸④-4

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度 担当	令和5年度 現在の状況
観光周遊バス運行事業	水戸市観光課	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容 梅まつりなど、花の名所で開催されるイベントに合わせて観光周遊バスを運行し、偕楽園や弘道館など歴史的資源を周遊する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

1 主要な季節のイベントに合わせて3行程(計8日間)の観光周遊バスを運行し、累計3,344人が乗車した。
 (1)観光漫遊バス～水戸のあじさい満喫編～ 乗車人数 980人
 ・期 日: 令和5年6月17日(土曜日)・18日(日曜日)
 ・ル-ト: 保和苑下→水戸駅南口→弘道館・水戸城大手門前→MitoriO(水戸市民会館横)→水戸八幡宮前→保和苑下
 (2)観光漫遊バス～茨城DC編～ 乗車人数 1,015人
 ・期 日: 令和5年10月7日(土曜日)・8日(日曜日)・9日(月曜日・祝)
 ・ル-ト: 千波湖西駐車場→水戸駅南口→弘道館・水戸城跡→水戸市民会館横→千波湖西駐車場
 (3)観光漫遊バス～梅香る水戸満喫編～ 乗車人数 1,349人
 ・期 日: 令和6年2月24日(土曜日)・3月2日(土曜日)・3日(日曜日)
 ・ル-ト: 偕楽園(千波湖西駐車場)→弘道館・水戸城跡→水戸市民会館横→茨城県立歴史館→偕楽園(千波湖西駐車場)
 2 観光周遊バスを運行し、イベント会場から偕楽園や水戸城跡といった歴史的資源への周遊を促すことにより、市民や観光客に対する歴史的風致の普及啓発に一定の成果を得た。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

従来のボンネットバスでの運行に加え、観光消費につながる仕掛けを検討・実施し、多くの方に周遊していただくことができた。今後は、既存の路線バスによる周遊促進も含めて、よりよい手法を検討していく。

状況を示す写真や資料等



弘道館・水戸城跡を走行する観光周遊バス

評価軸④-5

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度 担当	令和5年度 現在の状況
歴史的風致に関連した祭り開催支援事業	水戸市観光課	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容
 梅まつり(偕楽園周辺)や水戸黄門まつり(東照宮周辺)など、歴史的風致内で実施されるイベントの開催にあたり、補助金を交付し、企画・実施からPRまで幅広い支援を行うことで、市民や観光客の歴史的風致に対する興味・関心を高め、歴史的風致の維持・向上につながる様々な活動への参加を促進していく。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

○歴史的風致に関連した祭り等の開催を支援し、多くの観光客が来場した。

(1)水戸のあじさいまつり
 ・期間:令和5年6月10日(土曜日)~7月2日(日曜日)
 ・会場:保和苑及び周辺史跡
 ・来場者:46,000人
 ・内容:高校生による野点茶会をはじめ、各種ステージイベント等、学生が多く参画することで、若い世代への歴史的風致の普及・啓発を図った。

(2)水戸黄門まつり
 ①水戸偕楽園花火大会 ②本祭
 ・期間:①令和5年7月29日(土曜日) ②令和5年8月5日(土曜日)・6日(日曜日)
 ・会場:①千波湖 ②国道50号(水戸駅北口~大工町交差点)
 ・来場者①335,000人 ②215,000人(2日間計) 合計550,000人
 ・内容:
 ①内閣総理大臣賞20回受賞(当時)の花火師「野村花火工業」による花火の打ち上げを行った。
 ②4年ぶりに国道50号で開催し、東照宮の山車が参加する山車巡行をはじめ、水戸市の伝統工芸品である水府提灯を活用した水戸黄門提灯行列、水戸ふるさとみこし渡御等を実施するなど、市民や観光客に対する本市の歴史的風致の普及・啓発を図った。

(3)水戸の梅まつり
 ・期間:令和6年2月10日(土曜日)~3月17日(日曜日)
 ・会場:偕楽園・弘道館
 ・来場者:242,100人
 ・内容:水戸東武館による武道演舞をはじめ、弘道館における各種講座など、歴史的風致の普及啓発に係るイベントを多く開催した。また、「夜・梅・祭」として、会場内の歴史的建造物等を活用したのライトアップやプロジェクションマッピング等を行うなど、若い世代への興味・関心にも繋がる取組も行った。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	今年度は、新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行に伴い、水戸黄門まつりをはじめとしてフルスペックで開催することができた。今後は、各まつりの更なる周知を図り、若者を中心に本市の歴史や文化への興味・関心を高め、歴史的風致の維持・向上につながる取組を行う。

状況を示す写真や資料等



水戸ふるさとみこし渡御で賑わう国道50号
(第63回水戸黄門まつり)



観梅客で賑わう偕楽園
(第128回水戸の梅まつり)

評価軸④-6
文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度 担当	令和5年度 現在の状況
歴史的風致情報発信推進事業	水戸市歴史文化財課	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容 市広報誌やSNSを活用した文化財や関連行事に関する情報発信、さらには文化遺産説明板の設置を行い、市民の歴史・文化に対する理解を深めていく。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- ①市広報誌:連載「水戸の城さんぽ」全12回ほか
- ②市公式LINE:「第18回水戸市郷土民俗芸能のつどい」開催記事ほか
- ③市立博物館公式X(旧ツイッター):特別展「江戸氏」関連記事ほか
- ④小中学校向け無料連絡アプリ:「重要文化財薬王院本堂保存修理工事見学会のお知らせ」ほか
- ⑤文化遺産説明板設置及び補修:3件
(向井町の散々楽, 見川一本松の供養塔, 国重要文化財中崎家住宅)

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
----------------	--------------------------

<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	SNSは発信力・発信スピード等に優れた面があるため、今後もSNSを中心とするデジタルマーケティングを駆使した情報発信を戦略的に進めていく。
------------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------

状況を示す写真や資料等



①市広報誌「広報みと」
「水戸の城さんぽ」連載記事



②市公式LINE
「第18回水戸市郷土民俗芸能のつどい」開催記事

水戸市立博物館 @mitoshih... 2024/02/03 ...
 【展示解説を行います】
 明日2月4日(日)の午前11時と午後2時からの2回、特別展「江戸氏」の展示解説(ギャラリートーク)を行います。
 担当学芸員が展示の見所をお話ししますので、ぜひお越しください(^^)
 予約等は不要です。
 #水戸 #江戸氏 #展示 #解説 #博物館



🗨️ 🔄 ❤️ 10 📊 493 📌 🔄

③市立博物館公式X(旧ツイッター)
特別展「江戸氏」関連記事



⑤水戸市地域文化財
向井町の散々楽 文化遺産説明板

評価軸④-7 文化財の保存又は活用に関する事項		評価対象年度	令和5年度
項目		担当	現在の状況
文化財指定、調査、保存活用計画策定等の推進		水戸市歴史文化財課	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
計画に記載している内容 市内に存在する歴史的に価値の高い文化財を、取扱に関する啓発の不足、開発及び生活環境の変化による消滅・損壊から積極的に保護するため、種類別に調査を実施し、実態の把握や文化財の指定に努め、効果的な保存・管理を図る。	定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
①石河明善日記(市指定文化財)の翻刻(19回)、関連講座の開催(1回) ②市指定天然記念物ヒカリモの調査(16回) ③市指定文化財候補調査(2件) ④地域文化財認定候補調査(3件) ⑤水戸市文化財保存活用地域計画協議会(1回)			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	近年、文化財保護法に規定する文化財6類型以外でも、地域を物語る文化財として把握する取組が全国的に進んでいることから、本市においても多様な文化財の調査・把握に努め、積極的に指定・認定等を図り、文化財の保存を推進する。		
状況を示す写真や資料等			
 <p>①石河明善日記の調査</p>		 <p>⑤水戸市文化財保存活用地域計画協議会 (令和5年9月28日開催)</p>	
<p>③水戸市新指定文化財(2件) 令和6年2月9日指定</p>  <p>林十江の墓石</p>		 <p>大日本史編纂記録</p>	
<p>④水戸市新認定地域文化財(2件) 令和6年3月22日認定</p>  <p>木造 如意輪観音坐像</p>		 <p>D51形515号蒸気機関車</p>	

評価軸④-8

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度 担当	令和5年度 現在の状況
文化財の修理, 整備, 防災事業の推進	水戸市歴史文化財課	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容
【文化財の修理・整備】文化財に対する保護・整備を拡充するため、所有者・管理者等との連携を図り、必要に応じて修理・整備に努める。
【文化財の防災】防災体制, 設備の整備を図るとともに, 防災訓練や啓発事業を実施する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

【文化財の修理事業】
 ①弘道館鹿島神社境内におけるナラ枯れの発生及び対応について
 被害木の伐採燻蒸を実施した。
 ②「薬王院本堂」の屋根の修理について
 雨漏りが発生した本堂屋根について, 屋根銅板の解体が完了し, 木下地調査を経て, 銅板葺き工事に着手した。
 ③「会沢正志斎の墓」の墓石台石の修理について
 墓石台石の割れについて, 修理が完了した。

【文化財の防災事業】
 ①文化財防火デーの企画(令和6年1月26日, 場所:吉沼観音堂)
 文化財所有者や近隣住民に対して, 文化財愛護と防災意識の高揚を図るため, 市指定文化財「木造阿弥陀如来立像」が管理されている吉沼観音堂からの出火を想定した防災訓練を企画した。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	全国的に大規模な自然災害が頻発する中, 文化財防災の対応が重要になってきている。今後も文化財防火デーをはじめとする, 文化財を災害から守る備えとともに, 有事の際に即応できる体制の整備に向けて, 検討を進めていく。

状況を示す写真や資料等

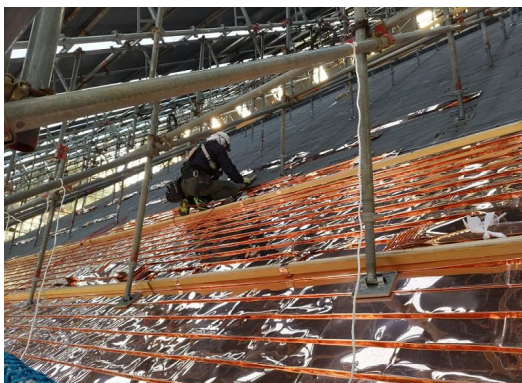
①弘道館鹿島神社境内
ナラ枯れ被害木の伐採



施工前



施工後



②薬王院本堂屋根銅板葺き工事状況



①第70回文化財防火デー

評価軸④-9

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度 担当	令和5年度 現在の状況
文化財に関する普及・啓発の推進	水戸市歴史文化財課	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容 史跡めぐりや水戸郷土かるた関連事業をはじめとする各種普及・啓発事業を推進し、市民の歴史・文化に対する意識向上を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

【令和5年度に実施した主な文化財普及・啓発関連事業】

- ①令和5年4月1日～9日, 8月1日～15日, 11月1日～7日・19日～25日, 12月18日～令和6年1月8日, 3月22日～31日 文化財ライトアップ 場所:水戸市水道低区配水塔
- ②令和5年4月25日・28日, 5月23日・26日, 6月3日・5日・26日・27日, 7月9日・29日, 8月18日・25日, 9月13日, 10月23日, 11月2日・7日・15日・27日, 12月6日・11日, 令和6年1月21日・29日, 2月7日・14日, 3月2日・3日・14日・19日・21日 水戸城現地見学 参加者:1,780人
- ③令和5年7月26日, 8月2日 水戸郷土かるためぐり 参加者:76人
- ④令和5年7月29日, 8月18日・23日・25日, 9月11日, 10月23日, 11月7日・27日, 12月11日・13日, 令和6年1月13日・17日, 2月7日, 3月2日 いきいき出前講座
- ⑤令和5年10月1日, 12月2日・16日 みと歴史講座 場所:博物館 参加者:113人
- ⑥令和5年10月5日, 12日 史跡めぐり 参加者:80人
- ⑦令和5年10月28日～令和6年2月25日「MADE IN ABOKKE ～須恵器からみた古代水戸の窯業～」 場所:埋蔵文化財センター 来場者:2,737人
- ⑧令和5年11月12日 第32回風土記の丘ふるさとまつり 場所:埋蔵文化財センター 来場者:3,500人
- ⑨令和5年11月19日 教育遺産世界遺産登録推進協議会国際シンポジウム「海外から見た近世日本の教育遺産群」 場所:ホテルオークラ京都 参加者:419人(オンライン視聴者含む)
- ⑩令和6年1月26日 文化財防火デー 講習会及び防災訓練 場所:吉沼観音堂 参加者:37人
- ⑪令和6年1月26日, 27日 重要文化財薬王院本堂保存修理工事現場見学会 場所:薬王院 参加者:110人
- ⑫令和6年2月3日 水戸の歴史を再発見する市民ワークショップ 場所:水戸市役所 参加者:23人
- ⑬令和6年2月3日～3月10日「江戸氏 一知られざる水戸の戦国時代」 場所:博物館 来館者:4,257人
- ⑭令和6年2月24日 夜・梅・祭2024 第一夜 水戸城 場所:弘道館, 水戸城大手門, 二の丸角櫓ほか 来場者:9,000人
- ⑮令和6年3月9日 第18回水戸市郷土民俗芸能のつどい 場所:市民会館
- ⑯令和6年3月23日 茨城県日本遺産認定都市連携事業「仮想見学～茨城県の日本遺産～」場所:弘道館 参加者:29人

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

令和5年度は、国際シンポジウムや二の丸角櫓のプロジェクションマッピング等の新規事業を実施し、文化財の多様な魅力を発信できた。今後もマンネリ化しないよう魅力的な普及・啓発事業を企画立案し、文化財の普及・啓発に努める。

状況を示す写真や資料等



④いきいき出前講座



⑦企画展「MADE IN ABOKKE ～須恵器からみた古代水戸の窯業～」



⑨国際シンポジウム「海外から見た近世日本の教育遺産群」



⑫水戸の歴史を再発見する市民ワークショップ



⑬特別展「江戸氏 一知られざる水戸の戦国時代」



⑭夜・梅・祭2024 (二の丸角櫓)のプロジェクションマッピング

評価軸⑤-1

効果・影響等に関する報道

報道等タイトル	年月日	評価対象年度	5年度
		掲載紙等	
獅子舞や落語で感謝祭盛り上げ	令和5年4月16日	茨城新聞	
好文亭内庭散策しよう 特別公開	令和5年4月24日・30日	茨城新聞	
笠原水道 岩樋を再現	令和5年5月3日	茨城新聞	
水戸の梅まつり 来場者27万3000人	令和5年5月4日	茨城新聞	
季節限定, アジサイ柄 水戸八幡宮	令和5年5月6日	茨城新聞	
城跡の隠れた魅力知って 水戸・河和田城探訪	令和5年5月22日	茨城新聞	
日本庭園 色めく 水戸・あじさいまつり(保和苑)	令和5年6月7日・11日・14日	茨城新聞・朝日新聞・読売新聞・NHK	
借楽園花火大会臨時列車を運行(水戸黄門まつり)	令和5年6月20日	茨城新聞	
銃後の暮らし, 戦争伝える 紙芝居, 写真など資料100点(市立博物館)	令和5年6月22日・30日, 8月9日	よみうりタウン・茨城新聞・毎日新聞	
市立下大野小学校 伝統のみろくばやし	令和5年7月19日	茨城新聞	
弘道館に残る 水戸空襲の傷跡	令和5年7月28日・30日, 8月1日	毎日新聞・茨城新聞・東京新聞	
大輪5000発 夜空咲く(水戸黄門まつり)	令和5年7月30日・31日	茨城新聞・読売新聞・毎日新聞	
お座敷文化 次代へ	令和5年7月31日	茨城新聞	
「水府流水術」で那珂川を泳ぐ	令和5年8月1日	読売新聞	
水戸空襲78年の日 戦争体験語り継ぐ	令和5年8月3日	東京新聞・朝日新聞・毎日新聞・読売新聞	
夏の風物詩 水戸黄門まつり 4年ぶりに通常の規模で開催	令和5年8月6日・7日	茨城新聞・NHK・読売新聞・朝日新聞	
住宅に空襲の痕跡 水戸・木村家	令和5年8月7日	茨城こども新聞	
施設も「水」色(水戸市水道低区配水塔)	令和5年8月7日	日本水道新聞	
水戸黄門まつり 55万人が来場	令和5年8月9日	読売新聞・茨城新聞	
弘道館 建物にアライグマが頻繁に出没 侵入防止対策を検討	令和5年9月6日・8日	NHK・読売新聞	
ハギを感じる秋の風情(借楽園)	令和5年9月26日・30日	毎日新聞・茨城新聞	
デゴイチ汽笛53年ぶり 水戸・千波公園	令和5年10月3日・11日	茨城新聞・毎日新聞	
水戸の秋まつり 吉田神社秋季例大祭	令和5年10月12日・15日	茨城新聞・朝日新聞	
参道整備を記念 氏子ら祭礼行列(水戸東照宮)	令和5年11月19日	茨城新聞	
「弘道館」など世界遺産登録目指す 国際シンポジウム 京都	令和5年11月20日	NHK	
G7会合出席者が古武道の演武など見学	令和5年12月9日・10日・12日	NHK・朝日新聞・読売新聞・毎日新聞・茨城新聞・産経新聞	
戦時中の「国策紙芝居」披露(市立博物館)	令和5年12月14日・21日	産経新聞・よみうりタウン	
水戸東武館150周年 少年剣士ら寒稽古	令和6年1月21日	茨城新聞	
須恵器など114点紹介(埋蔵文化財センター)	令和6年1月25日	毎日新聞	

評価軸⑤-1

効果・影響等に関する報道

報道等タイトル	年月日	掲載紙等
銅板屋根ふき替え公開 水戸 重文の古寺・薬王院本堂	令和6年1月27日	茨城新聞
吐玉泉(文化財防火デー)	令和6年1月27日	茨城新聞
偕楽園表門の利用促進 混雑緩和や陰陽の魅力	令和6年2月7日	茨城新聞
梅香る春到来 水戸の梅まつり	令和6年2月10日・11日・12日・16日・19日	茨城新聞・朝日新聞・読売新聞・毎日新聞・NHK・茨城こども新聞
水戸市文化財に2件 林十江の墓石/大日本史編纂記録	令和6年2月10日・20日, 3月8日	茨城新聞・朝日新聞・読売新聞
謎の多い「江戸氏」に注目(市立博物館)	令和6年2月15日・27日, 3月6日	よみうりタウン・東京新聞・読売新聞
水戸郷土かるた児童競う	令和6年2月21日	読売新聞
外交官が本県魅力体感 県, 歴史や文化アピール(弘道館・偕楽園)	令和6年3月1日・2日	茨城新聞・読売新聞
大根むき花や棒術 水戸, 民俗芸能のつどい	令和6年3月14日	茨城新聞
地域文化財 新たに2件 如意輪観音坐像/デゴイチ	令和6年3月23日	茨城新聞

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input type="checkbox"/> 計画の進捗に影響あり <input checked="" type="checkbox"/> 計画の進捗に影響なし	新聞・テレビ等のメディアによる報道は例年以上に多かった。近年はYouTubeやネットニュース等、報道の多様化が進む一方、依然として新聞・テレビ等の発信力は市内においては高い。そのため、引き続き記者クラブ等を活用し、メディアへの情報提供に努める。

状況を示す写真や資料等



茨城新聞
 「水戸市文化財に2件」 令和6年2月10日付
 ※転載許可済

評価軸⑥-1
その他(効果等)

評価対象年度 5年度

項目

水戸市への観光客数の推移

計画に記載
している内容

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付

本市の観光入込客数は、新型コロナウイルス感染症の拡大で大きく減少していたが、令和3年からは増加傾向をたどっている。

本市の歴史的風致を構成する代表的な歴史的資産である「弘道館・水戸城跡周辺地区」においても、二の丸展示館の入館者数は令和4・5年度にかけて大幅な増加傾向にある。この入館者数は、弘道館の年間来場者数の約70%に相当する。水戸城歴史的建造物の復元整備事業は、弘道館周辺地区の来場者を水戸城周辺地区に誘導するという狙いがあったが、そうした当初の狙いが功を奏している状況にある。

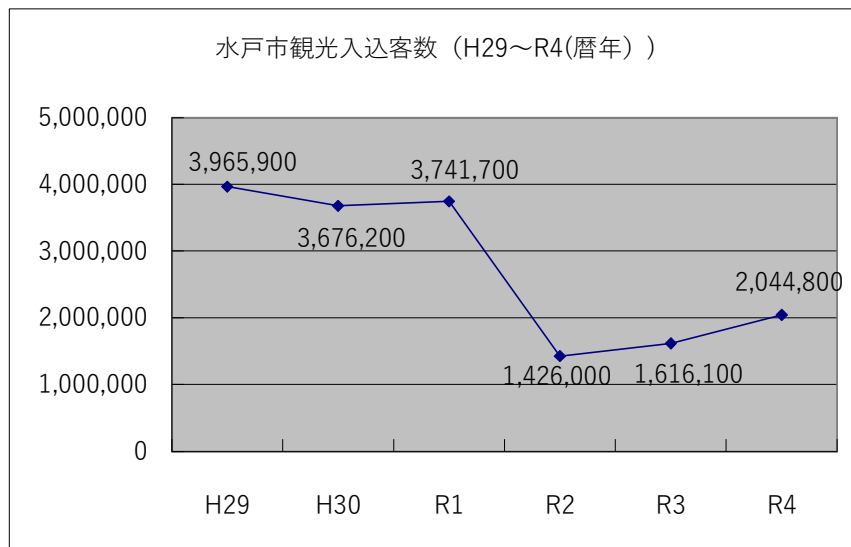
進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

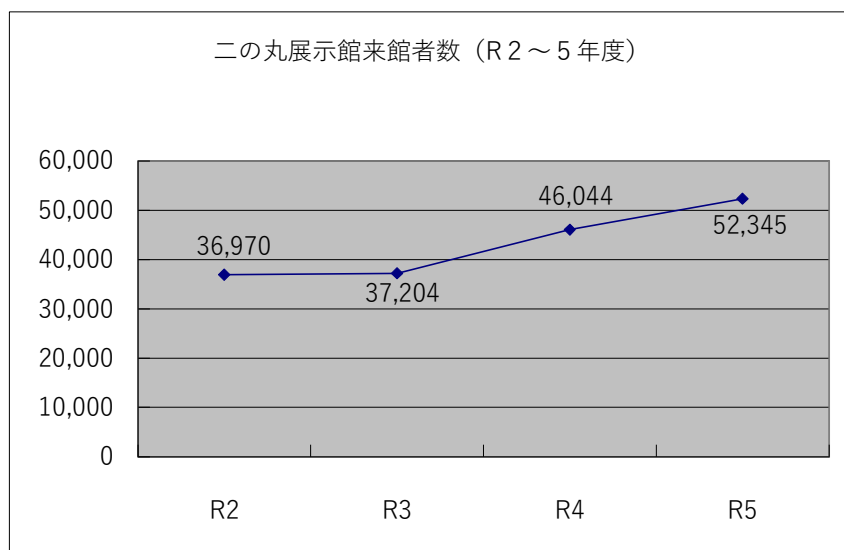
- 計画の進捗に影響あり
- 計画の進捗に影響なし

弘道館・水戸城跡周辺地区に関連する各機関が観光マインドを共有できるよう連携を強化し、産学官及び市民協働による取組を進めていく。

状況を示す写真や資料等



※茨城県「令和4年観光客動態調査」を基に作成



評価対象年度	5年度
・法定協議会等におけるコメント	
コメントが出された会議等の名称: 令和6年度第1回水戸市歴史的風致維持向上計画協議会	
会議等の開催日時: 令和6年4月15日(月) 午後2時～午後3時30分 (会場: 水戸市役所3階 教育委員会室)	
(コメントの概要)	
<p>1. 進行管理・評価シートについて</p> <p>○評価軸③について 一つ一つの事業について、全体の事業期間の中で進捗が分かるよう、書き方を工夫してほしい。</p> <p>○借楽園公園整備事業について(4頁) 借楽園は、「好文亭四季模様之図」や「借楽園図」に詳細に樹木が描かれている。景観上伐採しなければならない樹木もあるが、歴史上重要な意味を持つ樹木もあるので、絵図資料と照らし合わせるとともに、専門家へ意見聴取するなど、慎重に実施してほしい。</p> <p>○民俗芸能実演支援事業(11頁) 郷土の民俗芸能を地域で継続していくため、学校との連携を強化してほしい。</p> <p>○文化財・まちなみ巡り事業(12頁) 歴史的資源を巡るツアーは、ニーズはあるが、ツアーを組むとなると移動手段や立地などで行程に制約が生まれてしまう。そのため、市民・観光客が個別で巡ることができるよう、歴史のテーマに沿ったマップを作成するなど検討してほしい。</p> <p>○歴史的風致に関連した祭り開催支援事業(14頁) 祭りの関係者に話を伺うと、世代間の意思疎通や協力関係が不十分になりつつある。若い世代が活躍できないと、祭りは今後下火になってしまう可能性がある。こういったことを打開し活性化した市町村を参考にして、事業の質を高められるよう努めてほしい。</p> <p>○歴史的風致情報発信推進事業(15頁) 情報発信に力を入れており、ホームページの内容も充実している。しかし、情報が多すぎて、見る側にとってわかりづらい印象を受けた。歴史に関していえば、時代・テーマ・人物などで分類したり、所在地を地図で示すなど、見せ方を工夫するよう努めてほしい。 また、中高生・大学生の調べ学習につながるよう参考文献も掲載してほしい。</p>	
	
(右)協議会当日の様子	
(今後の対応方針)	
・本市ならではの歴史と風格の感じられるまちづくりを目指して、県や関係機関との連携を密にし、計画内事業を推進していく。	